聖マリアンナ医科大学　男女共同参画キャリア支援センター〔サン・オリバ〕

News Letter

VOL.12
2019年9月号

医学部卒前キャリア教育
2019年5月11日(土)

2019年5月11日(土)午前9時から午後12時30分まで、医学部第2学年「実践医学」の授業で「卒前キャリア教育」を開講しました。

昨年同様、全国の医学部卒前教育で男女共同参画に関する講義・ワークを実践されている、蓮沼直子先生(広島大学大学院医系科学研究科 医学教育学教授)を招聘しました。

明石副センター長の「Work Life Balance」に関する講演では、本学の一般事業主行動計画、医療の質を保つために女性医師の能力も活用できる労働環境の必要性、働き方改革についてお話しいただきました。

その後、蓮沼先生の司会・進行により、「子供の朝の発熱」「女性外科医の海外留学」の2つシナリオについて14グループに分かれて討論と発表を行いました。

ロールモデル講演は、鈴木由妃先生(産婦人科)より、これまでの経歴と、臨床、基礎研究と育児との両立の様子、栗原毅先生(腎泌尿器外科)より、男性医師として時短勤務を行い育児に参加することのメリットなどについて、お話しいただきました。

蓮沼先生による総括の後、各自で今後30年間の「キャリア未来年表」を作成して授業を終了しました。

出席者からのアンケート結果より、内容について「かなり満足・満足」が69%、興味について「極めて適当・適当」が67%との回答が得られました。

「キャリア教育を通して、自分の意志をもってキャリアを築く大切さを学んだ」「多様な選択肢があることを知り将来のことをしっかり考えたい」など、これまで漠然としていた卒業後のキャリアを考える有意義な機会になったことが窺えました。　また、もっと多くのロールモデルから様々なキャリアの話を聞きたいとの意見も多く頂きました。

〔広島大学 蓮沼先生〕

〔明石副センター長〕

医学部保護者会における相談会
2019年5月25日(土)

2019年5月25日(土)、医学部保護者会での懇親会の時間帯に、「学生・保護者相談会」のブースを設置しました。女性医師・研究者支援部会員の中から、大学院および臨床研修センターの委員を担当している2名の教員が対応させていただいた結果、2件のご相談の他、懇親会会場からの退出の際などに、多数のご質問およびキャリアパス関連資料のご希望をいただきました。

学生・保護者の皆様からのキャリア相談に対応するため、次回2019年10月26日(土)の保護者会開催時にも、懇親会の時間帯に相談ブースを設置する予定です。

医学部6年生との交流会
2019年7月1日(月)

2019年7月1日(月)午後12時30分から1時間、昼食を取りながら、医学生と教員との交流会が開催されました。

当日は、医学部6年生14名(男性8名、女性6名)、センター関係者10名(男性3名、女性7名)が参加し、複数のテーブルに分かれて、卒業後の臨床研修、大学院進学、専門医制度、育児と仕事の両立など、現実的な話題についてお話しました。授業の時の医師・学生という立場を超えて、医師としてのキャリアや人生設計を考えるための貴重な時間になったと思います。

今後も、身近なロールモデルと交流できる場として継続して開催いたします。

ダイバーシティ講演会　「男女共同参画 ―米国医学界とシリコンバレーで学んだ事―」

2019年10月8日(火)開催予定

2019年10月8日(火)午後6時より病院本館3階大講堂にて、国際医療福祉大学医学教育統括センター長赤津晴子先生をお招きし、ダイバーシティの推進についての講演会を予定しています。是非ご参加ください。

女性医学生・研修医と女性医師・教員との交流会

2019年11月15日(金)開催予定

2019年11月15日(金)午後5時30分より、教育棟1階マリオンにて、医学生(5、6年生)、研修医(1、2年目)および女性医師・教員の交流会の開催を予定しています。男性のご参加も大歓迎です。
是非ご参加ください。
＊なお、交流会の前に、ダイバーシティ表彰(学術分野)の授賞式を執り行う予定です。

ダイバーシティ研究助成金採択者講演　2019年7月6日(土)

2019年7月6日(土)に教育棟1階ロビーで開催された第77回聖マリアンナ医科大学医学会学術集会において、平成30年度ダイバーシティ研究助成金採択者2名の講演が行われました。

中田(有光)なぎさ先生(免疫学・病害動物学)より「Reelin/Disabled経路修復による神経保護機構の解明と脳損傷後の新規治療法確立」、鈴木由妃先生(産婦人科)より「妊孕性温存治療における未受精卵子凍結の改善策を探る－成熟卵子および未成熟卵子のミトコンドリア動態を解明する－」と題して、研究成果の発表に加えてご自身のワークライフバランスについても紹介いただきました。お二人とも今後の研究の発展が大変期待できる内容でした。

今年度もダイバーシティ研究助成金による女性およびライフイベント中研究者の支援を継続していきます。

〔免疫学・病害動物学　中田先生〕〔産婦人科 鈴木先生〕

搾乳室のご案内

2016 年 12 月 1 日(木)より搾乳室の利用が開始になりました。
この度、下記の通り移転いたしましたので、お知らせいたします。利用を希望される方は、お気軽にお問い合わせください。

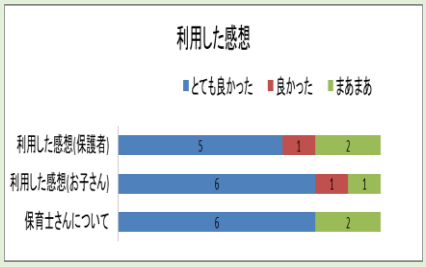
1. 場所　：　医学部　6 階　総合教育センター内
2. 連絡先　：　電話　内線 3620
   Mail　career@marianna-u.ac.jp
   ＊件名に「搾乳室利用」と入れてください。
3. ご利用に当たって
   ①ご利用いただける時間は平日 8:30－17:00 となります。
   ②事前にお電話またはメールで搾乳室の空き状況をご確認ください。
   ③急な場合でも対応いたしますので、お気軽にお問合わせください。
4. 持参いただくもの：搾乳器、母乳パック、ガーゼなど
5. 環境　：　冷凍庫、ソファー、テーブル

＊冷凍庫を利用の場合は、母乳パックに名前・日付・時間を明記してください。
当日の17時あるいは翌日の正午までにご自身で受け取りにいらしてください。

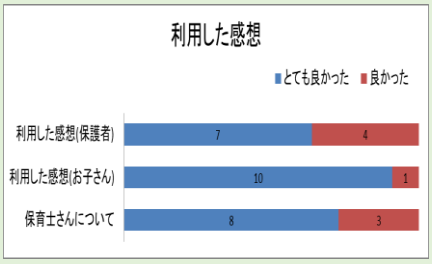
2019 年 8 月
男女共同参画キャリア支援センター
事務局(内 5814)

2019年度春季・夏季短期学童保育　～利用者アンケートより～

[春季]



[夏季]



[感想(抜粋)]

[春季]

・いつも笑顔で迎えて下さいました。本やおもちゃなど豊富にご用意下さっていて、本人もとても楽しかった!と言っていました。一人一人に合わせて丁寧にご対応下さりありがとうございました。

・入学まで不安だったのでとても助かりました。ぜひ長期休みにも行って頂けると助かります。お昼のお弁当も大変なので有料で出していただけるとさらに良かったです。

[夏季]

・すぐにお友達が出来て仲良く遊んだようです。

・去年友だちになった子とあえてうれしかったみたいです。

・工作で作った物をうれしそうに見せてくれて、とても楽しかったようです。体育館で体を動かせたのも良かったです。

・いつもと違う友達ができてカリキュラム(工作・英語)もあり楽しかったとのこと。

●男女共同参画キャリア支援センター●
事務局044-977-8111(内線5814)、メール(ご相談・ご意見)：career@marianna-u.ac.jp